

音声掲載ありがとうございます。新聞社様の言う通り、平成26年4月に役場の処分が下る前に音声のMP3のDVDファイルと、今まで組合が談合を成立させてきた書類を役場に提出しましたが受け取りを拒否されました。

2回伺いました。1回目は入札担当の政策推進課の窓口で「この録音は組合員の皆様が納得の上での録音ですか?」と言われたので、「公益を図るための録音です」と答えました。

「今まで組合は100パーセント談合で仕事を取ってきた」と発言している録音ファイルを再生しましたところ受け取りを拒否されました。拒否した職員の名前は忘れましたが政策推進課の人間は多数聴いていると思います。

2回目は、影沢将司前副町長と平成26年度4月現在での政策推進課「岡部様」です。副理事長室で同じファイルを再生しました。その時も音声入りのDVDと書類を持参しまして提出したところ拒否されましたので、副町長室を退出したら「警察に行きます」と答えたところ、前副町長からは「警察にはいかないでほしい」と言われ、政策推進課の岡部様からは「新井さんのためにならないから警察にはいかない方がいい」「今後、役場の処分が下り処分が明ければ新井さんにも、組合員も良い事があるよ」など色々と説得されなんとか我慢しました。

「新井さんにも処分が下るのは、学生でいえば不良の番長がお前万引きして来いと言われて、万引きした人間が警察に通報すればその人間も捕まるのと同じだよ」「極論を言えばだけどね」と言われました。

私は失笑しながら「そうなんですか」とだけ答えました。役場も組合も良くなる事を期待しましたが失望しました。だまされた私が馬鹿であるのは否定しません。小川町はそのような次元であるのが現実です。この情報は偽りではありません。

その後、談合ではなく、「不正行為」という事で行政処分が下りました。今から思えば、町としては自分の情報を受理してしまえば、大がかりな調査をせざるを得なくなり、「不正行為」だけでは済まなくなり、新聞記事にも掲載されましたが役場にも火の粉がかかるのを恐れたのだと思います。

最近中学生の自殺のニュースを拝見しましたが教育委員会がいじめを隠ぺいす

るのと同じ感覚であり。「いじめを告白なんて面倒な事したら先生に殴られた」「後からわかったことだが、先生といじめっ子の母親ができちゃってた」そんな次元のおはなしでしょうか？

役場の岡部様には恨みはありませんが私に対する処分はそう感じております。憤りを感じながら1年3か月我慢しましたが何も変わらないばかりか、お送りした平成26年の入札結果の土木工事の落札率をご覧ください。小川町の入札結果からダウンロードできます。

落札率は自分が計算しましたが小川町の結果通知にはトリックがあります。設計価格は税込みで記載されていて落札価格は税抜きで記載されています。

勘違いして「落札金額÷設計価格」で計算してしまうと落札率は低いパーセントになりますエクセルファイルの入札結果表の上記記載の設計価格と落札価格をご覧ください。極小の文字で右側に（税込）と（税抜）と記載があります。

この右側の文字は見落としがちになります普通なら落札金額の税率と設計金額の税率は同じに表示されるのが他の市町村の常識でございます。勘違いさせて計算するように故意的に表示させているのが分かります。このような卑小な入札結果を表示させております。最近気付きました。何か不都合な理由があるのでしょうか。

他の自治体の入札結果をご覧ください。設計価格、予定価格、落札価格全て税率は同じです。小川町だけ違いがあるのです。不都合があるのでしょう。パーセントに関しては私が計算しているのであってにならないので疑問でしたら、各個人様で計算お願ひいたします。

今日時間がありましたので新聞社様の言う「四面楚歌」の熟語の類似語は孤立無援であるのは認識したのですが由来を調べてみました語源は、古代中国の話のようです。調べてみたら戦をするものの定めというか悲しい由来です。ひなげしの花の名前の由来もその話の中にあるそうです。

告発する前は小川上下水道組合の方にも大変お世話になり、多数の方に後輩にしていただきました。告発後は無縁となってしまいました。
仕方のないことだと認識しております。